

感染症についてのお知らせ

墨田区保健所 保健予防課 感染症係

電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

令和6年
11月号



東京都内の感染症流行情報

出典：東京都感染症情報センター「東京都感染症発生動向調査週報」

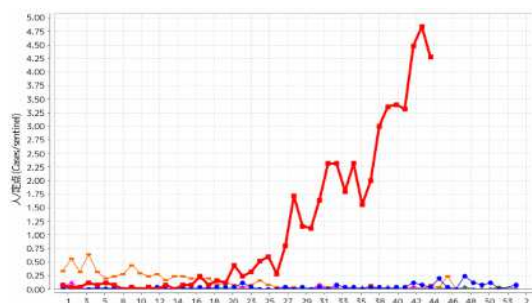
第44週（2024年10月28日から11月3日）の定点あたり報告数

・マイコプラズマ肺炎

東京都 4.28人/週（前週 4.84人/週）

墨田区 17.00人/週（前週 16.00人/週）

墨田区内では、例年と比較して報告数が非常に多い状況が続いています。手指衛生など基本的な感染防止策を心がける必要があります。

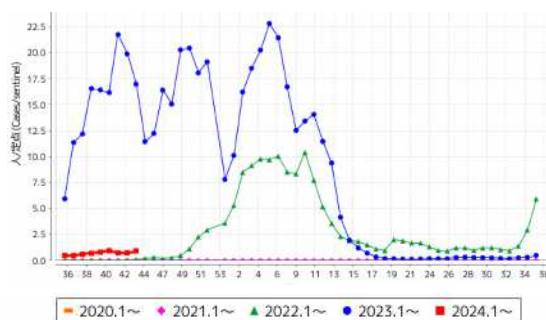


・インフルエンザ

東京都 0.92人/週(前週 0.73人/週)

墨田区 0.38人/週（前週 0.50人/週）

墨田区内では、前週と比較すると報告数が減少していますが、今後も注意が必要です。



(C)2002-2024 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

11月は「薬剤耐性（AMR）対策推進月間」です

出典：感染症情報センター「薬剤耐性菌関連情報」
AMR臨床リファレンスセンター



薬剤耐性ってなに？

薬剤耐性（AMR：Antimicrobial Resistance）とは、感染症の原因となる細菌が一つ以上の抗菌薬に対して感受性がない、つまりその抗菌薬が効きにくくなる、または効かなくなることを意味します。

細菌に感染した場合、感染した細菌の一部は既に抗菌薬に耐性を持っていることがあります。また、同じ種類の抗菌薬の反復投与や長期投与により、細菌が徐々に耐性を持つようになります。

薬剤耐性は何が問題なの？

菌の増殖を阻害したり、殺菌したりすることができる抗菌薬の種類が少なくなるため、深刻な病気につながるような細菌感染症の治療が困難となります。

薬剤耐性菌をつくらないようにするには？



受診し、処方された
抗菌薬を服用する



医師の指示した
時間・量を守る



自己判断で服用
を中止しない



中止する際は
必ず医師に相談

毎年11月は子宮頸がん予防啓発月間です



子宮頸がんの原因となるHPV(ヒトパピローマウイルス)は、性行為を経験する年頃になると、男女を問わず多くの人が感染します。感染した女性が必ず子宮頸がんになるわけではありませんが、年間約11,000人が子宮頸がんにかかり、約3,000人が子宮頸がんによって亡くなっています。

子宮頸がんの予防には？

HPV感染症を防ぐ、HPVワクチンの接種が重要です。また、子宮頸がんは早期発見できれば90%以上が治癒するため、定期的な子宮頸がん検診の受診が大切です。

詳しくは、それぞれの区HPをご確認ください。

小6～高1女子対象
の定期接種と
キャッチアップ接種



HPVワクチン男性への
任意予防接種費用助成



令和6年12月3日にHIV・梅毒即日検査「すみだ@あんしん検査」を実施します



12月1日の世界エイズデーに合わせて、**令和6年12月3日(火) 16:00～19:30**に、**すみだ産業会館(錦糸町駅徒歩3分)**にて、検査当日に結果を知ることができるHIV・梅毒即日検査「すみだ@あんしん検査」を実施いたします。

事前予約制で、区民に限らず匿名・無料で受けることができます。**11月1日(金)より申し込みを開始しています。**

予約方法

事前予約制です。
右記QRコードより、
お申し込みください。



12月3日(火)
HIV・梅毒即日検査
「すみだ@あんしん
検査」申請フォーム

結果説明について

採血後、約1時間程度で本人に口頭で結果をお知らせします。ただし、HIV検査の結果が判定保留の場合には確認検査を実施するため、結果をお知らせするまでに1週間程度かかります。

後日、結果説明のため、すみだ保健子育て総合センターへ来所していただきます。検査会場とは異なりますので、ご注意ください。



新しいHIV感染予防法「PrEP(プレップ)」を知っていますか？

出典：NPO法人ぶれいす東京
「PrEP in JAPAN」

HIVに感染するかもしれない行為の前と後に薬を飲み、感染リスクを下げる暴露前予防(Pre-Exposure Prophylaxis、頭文字をとってPrEP(プレップ))という予防法があります。

決められた通りに内服することで、性行為によるHIV感染は99%、薬物静注によるHIV感染は74%感染リスクを低下させる効果が期待できます。この方法は、性別、セクシュアリティに関係なく誰でも利用することができます。

ただし、HIVに感染している方はPrEPを使用できないため必ず、HIV検査で陰性を確認する必要があります。また、PrEP開始後も定期的なHIV検査が必要です。

PrEPでHIV感染は予防できても、他の性感染症は予防できません。誰にとっても安全な性生活のため、コンドームの使用は大変重要です。

PrEPについて、NPO法人ぶれいす東京のHPで紹介しています。右記QRコードよりご参照ください。

NPO法人ぶれいす東京
「PrEP in JAPAN」

